



新しい庁舎の建設に向けて

「新庁舎等建設だより」 習志野市新庁舎等建設本部 発行

VOL. 10
平成29年(2017年)2月

新市庁舎竣工間近!



工事スケジュール

1月下旬 市役所前交差点からの現場風景

平成28年(2016年)

平成29年(2017年)

平成30年(2018年)

建設工事

解体・外構工事



4月末
庁舎竣工

5月以降、順次開庁予定

その後、
第2・第3分室解体
教育委員会解体
保健会館別館解体
外構工事

全工事
完了は
1月末♪



インフレスライド※1による新庁舎建設工事費の変更について

※1 インフレスライドとは・・・

急激な物価変動により請負代金が著しく不相当となったときに発注者または受注者が請負代金額の変更請求ができるルールです。

技能労働者の適切な賃金水準を確保し、労働市場の実勢価格を請負代金額に適正・迅速に反映させることを目的としており、国からの通達に鑑み公共工事の請負契約に一般的に規定されています。

経緯

平成28年 1月 国から地方公共団体と建設業団体へ「技能労働者への適切な賃金水準の確保について」の通達が出される。

平成28年 5月 清水建設㈱から市へ契約に基づいた単価見直しの協議の請求がなされた。

平成28年10月 市と清水建設㈱が変更金額(スライド金額)について協議を行った。

平成28年第4回定例会で、新庁舎建設工事費の増額についての予算議案が可決された。

新庁舎建設工事費の推移

		当初契約 (平成26年12月)	杭変更 (平成27年12月)	インフレスライドによる変更 (平成28年12月)
新庁舎建設工事費と財源内訳 (単位: 万円) ※万円未満切上 () は当初契約時との増減比較		88億4,520万円 当初契約額	88億8,320万円 3,800万円増	89億9,601万円 1億5,081万円増
マイホームの購入に例えると	頭金 市の支出 [財源は国からの 震災特交※2]	23億2,740万円	27億円 (3億7,260万円増)	27億円 (3億7,260万円増)
	市有地売却金等の 積立から繰入※3	16億5,861万円	15億6,151万円 (9,710万円減)	15億7,142万円 (8,719万円減)
	住ローン 将来利用する市民 からの借り入れ※4	48億5,920万円	46億2,170万円 (2億3,750万円減)	47億2,460万円 (1億3,460万円減)

国からの震災特交※2が増額となりました。

※2 庁舎対象の震災特交(震災復興特別交付税)とは・・・

東日本大震災で被災した庁舎を建て替える場合に、原形復旧に相当する部分に係る費用として充てられる国の措置です。

平成27年に資材価格や労務単価の上昇を踏まえ単価見直しがなされ、当初約23.3億円だった震災特交は約3億7千万円増額され、**約27億円**が交付されます。

※3 公共施設等再生整備基金という、庁舎建設の為に貯めていた10億円を含めた、公共施設等再生のための貯金から繰入しています。

※4 地方自治体が国や銀行からお金を借ります。新庁舎は将来市民になる人も利用するため、工事費全額を短期間に支払うのではなく**地方債の返済**という形で将来の市民にも負担していただきます。

(返済期間は最長30年で借入先等で異なります。)

お問い合わせ ♪メールまたは FAX で新庁舎等建設本部 まで♪

メール:sintyosya-honbu@city.narashino.lg.jp FAX :047(453)9384